

七夕イベント

7月9日（木）七夕祭りをしました。
短冊に願いを書き、慣れない手つきで折り紙を折ったり切り貼りしたりしてたくさんの飾りを作りました。そしてみんなで作った七夕飾りや願いごとの書かれた短冊を、笹の葉に飾り付けをして記念写真を撮りました。

その後、今年はクレープを作りました。クレープ生地を作り、ホットプレートでクレープを焼き、アイスクリーム、フルーツ、チョコソースを入れて巻き、大きく口を開けパクリ、「美味



BBQ大会

天候にも恵まれた 6月30日、ふきのとうで BBQ大会を開催しました。

朝からメンバー・スタッフで火を起こし、テーブルをセット、野菜を切り、班ごとの材料の振り分けを行い、準備が整ったところで BBQ スタート!!

お肉、焼きそば、おにぎり、野菜をたくさん食べておなか一杯になり、みんな大満足でとても楽しい時間を過ごしました。



編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0743-84-7738
HP <http://www.fukinotou.or.jp/> Instagram https://www.instagram.com/fukinotou_tenri
E-Mail fukinotou1099@fukinotou.or.jp X <https://x.com/hukinotou1g55>
発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F 定価：10 円



しい〜」と笑顔いっぱいめでたき楽しい七夕祭りでした。

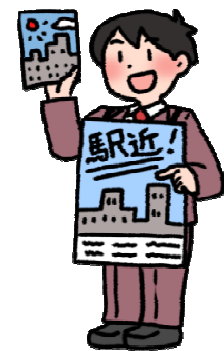
一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月（一・二・三・四・五・六の日）発行



『街のサンドイッチマン』にはモデルがいた

社会福祉法人ふきのとう 理事 古泉 健二
情報がちまたを駆け巡りました。

昭和25年から始まった朝鮮戦争が終結し、日本は再び深刻な不況に落ちてゆきました。街には失業者があふれ、サンドイッチマンという奇妙な職業も生まれていました。昭和28年に発売された『街のサンドイッチマン』は、前年作詞家デビューしたばかりの宮川哲夫の出世作となりました。作曲はシベリヤ抑留を歌った『異国の丘』の吉田正です。



この歌には実在したモデルがいました。連合艦隊司令長官などを歴任した元日本帝国海軍軍人高橋三吉の息子高橋健二です。父親がA級戦犯として逮捕されたあおりを受け、自分も勤務先を解雇され生活が困窮し、日銭を稼ぐため銀座でサンドイッチマンをしているとの

一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月（一・二・三・四・五・六の日）発行

ふきのとうの動き

令和8年

4月 2日 花見
5月 28日 ふきのとう祭り
6月 30日 BBQイベント
7月 9日 セタイイベント
8月 10・11日 大掃除
12～16日 夏季休業

9月 14日 研修 「障害者福祉実践の価値と職員に求められる専門性」
講師：天理大学人文学部社会福祉学科 准教授 深谷弘和氏

23・24日 きょうされん全国大会in大阪
一部スタッフ・メンバー参加
29・30日 働く障害者応援フェア参加

利用者さんの高齢化に伴う健康管理と、これからの課題

看護師 S. I

ふきのとうは来年創立20年を迎えます。この20年の間に男性の最高齢者は78歳、女性の最高齢者は76歳となり、利用者さんの高齢化が進んでいます。

それに伴い、近年では身体の不調から病院を受診し、入院治療となる方も増えています。

ふきのとうでは、自分の身体の変化や体調の不調を言葉で伝えることが難しい利用者さんが多く利用しており、そのため日々の関わりの中で見られる小さな変化を見逃さないことがとても大切だと感じています。

スタッフ間では利用者さんの様子や変化について情報共有を行うことはもちろん、必要に応じて訪問看護、訪問リハビリ、管理栄養士などの専門職の方々にも関わっていただき、それぞれの専門的な視点を生かしながら支援を行っています。

看護師としても、利用者さんの日々の様子を丁寧に観察し、「いつもと違う」という小さな変化を早期に発見することで、必要な受診や治療につなげられるよう、スタッフや関係する医療職の方々と連携していきたいと思っています。

また、今後の大きな課題の一つとして、ケアホームで生活されている利用者さんの「看取り」についても考えていく必要があります。

ふきのとうにとって看取りは初めての経験となりますが、訪問看護師さんをはじめとする医療職の方々と連携し、ご本人が最後まで安心して、その人らしく過ごせるよう、ご家族とも相談しながら支援していきたいと考えています。

ご家族の皆様にも、ご自宅で過ごされている際に「いつもと少し違うな」と感じられたことや、病院を受診された際に医師から伝えられたことなどがありましたら、どんな些細なことでも、ふきのとうのスタッフへお知らせいただければと思います。

ご家族からいただいた情報も大切にしながら、スタッフ間で共有し、医療職の方々とも連携していきます。

利用者さんがこれからも安心・安全・安楽に、そしてその人らしく過ごしていただけるよう、ふきのとうのスタッフとともに支援してきたいと思っています。

医療ケア会議

令和8年8月7日（木）13：00～15：00
場所：ハナミズキ
参加者：看護師2名 スタッフ12名

法人利用者の高齢化、重度化に伴い、特にハナミズキを利用している。N氏、M氏、S氏、O氏について日中、ケアホームスタッフ、ヘルパーなどかわる人が参加し、看護師より別添資料により今までの病歴や入退院の経緯、現在の状況等について説明があり、情報共有した。

N氏
尿路結石で何度も入院するためバルーンカテーテルを留置してケアホームで生活することになった。

バルーンカテーテル交換のため定期的な通院や訪問看護と連携し、毎日尿量や飲水量を把握し、管理している。

M氏
胸に水がたまり入院。病院から「体重を毎日計測し、管理してください。また血圧が高かったり、むくみがひどいときは再受診してください。」と言われる。

S氏
持病があり発症すると入院治療しかないため日々観察し、少しの変化でも共有できるようにする。

急な下痢で顔面が蒼白となり、動けない時がある。その際は、血圧が下がっているのでは

2度の心不全 毎日体重量る

4年前と昨年暮れの2回「心不全」で入院しました。

数日間で4,5キロ体重が増え呼吸が苦しく受診したところ即入院。原因不明ですが肺（胸）に水がたまるようです。ふきのとうでも75歳の女性と55歳の男性が同じように急激に

令和8年8月7日（木）13：00～15：00

場所：ハナミズキ
参加者：看護師2名 スタッフ12名

法人利用者の高齢化、重度化に伴い、特にハナミズキを利用している。N氏、M氏、S氏、O氏について日中、ケアホームスタッフ、ヘルパーなどかわる人が参加し、看護師より別添資料により今までの病歴や入退院の経緯、現在の状況等について説明があり、情報共有した。



まり動かさず、落ち着くまで待つよう病院からの助言があった。

O氏
おなかの張りや、足のむくみがひどく腕や顔までむくみが広がる。原因が分からず、何度も通院し入退院を繰り返す。訪問看護や栄養士にも入ってもらい現在はむくみも落ち着いている。

おなかの張りはまだ少しある。

Y.M

体重が増え、7月8月と立て続けに入院されました。周りが異常に気が付き受診を手助けしないと手遅れになる場合があります。

2人とも無事退院され元の生活に戻られました。それ以降、私も含め、毎日体重測定をしています。



買い物



朝の散歩



畑作業



ポスティング
（折込作業）